

その日付は、何の約束？

年 組 番 名前 _____

この紙のゴール：初めて読む英文から、対になる用語の違いと数字を読み分ける / 本文はこの教材のための書き下ろし（初見用）です。

There is a cup of yogurt in your fridge. The date on it was yesterday. Do you throw it away?

Wait a minute. Food has two kinds of dates, and they mean different things. A use-by date is about safety: do not eat the food after this date. A best-before date is different. It only shows how long the taste stays at its best. It is not a safety date.

Many people think the two dates are the same. So, a lot of food that is still safe goes into the trash. In Japan, about 4.7 million tons of food is thrown away every year while it can still be eaten. About half of it comes from homes.

What can we do? First, check which date is on the food. If it is a best-before date, look at the food, smell it, and then decide. Second, and most simply, do not buy more than you can eat.

〔語注〕 use-by date＝消費期限 best-before date＝賞味期限 trash＝ごみ

設問 本文の内容に合うものを選ぼう。

- (1) この文章がいちばん伝えたいことは？ 思考・判断・表現 答え（ ） 3点
- ア 日付が1日でも過ぎた食べ物は、安全のためすべてすぐに捨てるべきだ
- イ 2つの日付の意味を知れば、まだ食べられる食品を捨てずにすむ
- ウ 日本の食品ロスは、ほとんどが店やレストランから出ている
- エ 消費期限が過ぎた食品も、においを確かめれば食べてよい
- (2) 2つの日付について、本文の内容に合うものは？ 知識・技能 答え（ ） 3点
- ア 賞味期限（best-before）は、おいしさが続く目安を示している
- イ 消費期限（use-by）は、食品のおいしさが少しずつ落ちはじめる日を示している
- ウ 2つの日付は、ことばがちがうだけで意味は同じである
- エ 賞味期限が過ぎた食品は、売ることが法律で禁止される
- (3) 日本の食品ロスについて、本文の内容に合うものは？ 知識・技能 答え（ ） 3点
- ア 1年に約47万トンまで、少しずつ減ってきている
- イ 捨てられる食品の多くは、工場で作られるとちゅうに出る
- ウ 家庭から出る食品ロスは、全体のごく一部にすぎない
- エ まだ食べられるのに捨てられる食品の約半分は、家庭から出る
- (4) 筆者が読者にすすめているのは？ 思考・判断・表現 答え（ ） 3点
- ア 日付の種類は気にせず、なんでも早めに食べ切るようにする
- イ 自分が食べ切れる量だけを買うようにする
- ウ 賞味期限の近い食品は、値下がりを待ってから買うようにする
- エ 消費期限が過ぎた食品は、よく加熱してから食べるようにする

その日付は、何の約束？（基礎） | 解答と出題のねらい

解答

(1)	イ	第2～4段落の流れ。アは本文と逆、ウは第3段落（約半分は家庭から）と逆、エは use-by date の説明（過ぎたら食べない）に反する危険な誤答。
(2)	ア	第2段落 It only shows how long the taste stays at its best。イは2つの説明を入れ替えた誤答、エは本文にない。
(3)	エ	第3段落 about 4.7 million tons ... About half of it comes from homes。アは桁がちがう。
(4)	イ	最終段落 do not buy more than you can eat。アは「まず日付の種類を確かめる」に反し、ウは本文になく、エは危険な誤答（本文は過ぎたら食べないと明言）。

出題のねらい 定期テストに移すときの観点マップ

この英文の背骨は use-by（消費期限）と best-before（賞味期限）の対比で、(2)が取り違えの本丸です。誤答には「意味を逆にしたもの」「危険な思いこみ（期限切れも加熱すれば食べられる）」を置いてあるので、解説のときに安全側の線引きまで話せます。家庭科・社会科の食品ロスと直結し、論理・表現の意見文「食品ロスを減らすには」の導入資料にもなります。

設問	型	観点	テストでの使い方
(1)	大意（スキミング）	思考・判断・表現	本文と逆の通念や部分情報の誤答を切って、文章全体の主張を選べるか
(2)	明示情報	知識・技能	対になる2語の定義の読み分け。意味を逆にした誤答を切る
(3)	明示情報	知識・技能	数字と出どころ（家庭から約半分）。桁ちがい・別の数字とのすり替えを切る
(4)	筆者の提案	思考・判断・表現	本文にある提案を選ぶ。危険な誤答を確実に切れるかも見どころ

3つの版の使い分け

同じトピック・同じ設問構造で、英文の語彙・構文と選択肢の言語だけを変えてあります（基礎=選択肢も日本語／標準=選択肢が英語／発展=設問も英語）。①クラスの帯に合わせて選ぶ ②同じクラス内で配り分ける ③基礎→標準→発展と日を空けて再挑戦—の3通りの使い方ができます。正解の記号は版ごとに違います（配り分けのときの写し合い対策にもなります）。

